

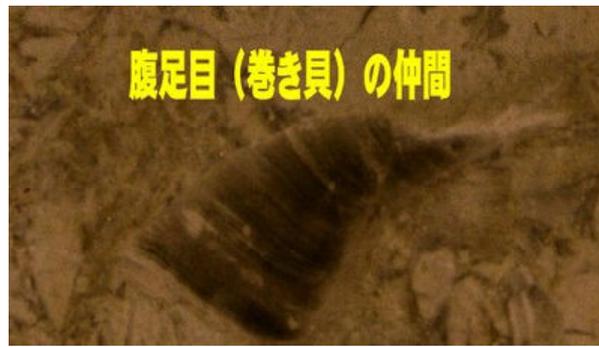
# 黒部市総合体育館の大理石

黒部市総合体育館では、化石を含む石材が2種類使われています。一つは大理石のリオーズモンテモア（ポルトガル産）で、正面入り口から入ると事務所付近から2階にかけての壁材として使われています。もう一つは砂岩のグリーンレイ（インド産）で、メインアリーナとサブアリーナをつなぐ通路部分に壁材として使われています。

リオーズモンテモアは、大理石の中でも比較的変成の度合いが弱く、化石の保存状態もわりと良好です。サンゴや腕足動物、棘皮動物のウミユリの破片などを観察できます。



砂岩の中には、黒っぽく見える植物化石が入っています。



※ この映像資料は、黒部市総合体育館の許可を受けて撮影し掲載したものです。